

セイコーウォッチ(株)は、アジア最大の総面積約274㎡を有する「グランドセイコーブティック 京都」を、京都の四条通に7月26日にオープンすることを発表した。

錦小路通に面した従来の店舗から移転オープンする新店舗は、世界でも有数の観光都市である京都の中心部を東西に繋ぐ風格と華やぎを持つ四条通に面している。2階建てとなる新店舗は、数あるグランドセイコーブティックの中でもアジア最大の売り場面積を誇り、豊富な品揃えとともに、進化を続けるグランドセイコーの魅力を感じられる場となっている。

ブランドメッセージにある「Alive in Time/今、この時を生きる人へ」を体現した、現代的で洗練された内装は、匠の技や精緻さ、そして日本独自の

アジア最大の グランドセイコーブティックが 京都の四条通に 7月26日にオープン



美意識から生み出されるグランドセイコー独自の魅力を表現した空間が広がっている。

また、グランドセイコーの新境地を提示する代表的なコレクション「エポリューション9コレクション」を中心としたモデルを直接見ていただけるコーナーを設置し、グランドセイコーが磨き続けてきた匠の技や精緻さを体感することができる。

2階へ向かう階段の壁面には、京都を代表する東寺の五重塔とグランドセイコーの「獅子の紋章」のアー

ト作品が展示されている。新店舗のために制作された同作品は、紋章上絵師(もしょううわえし)の波止橋承龍(はとば



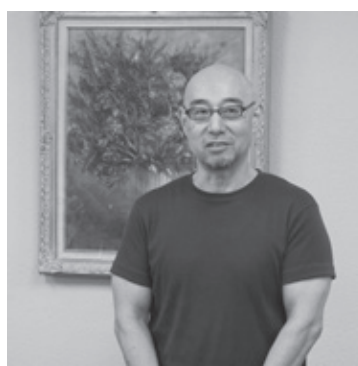
しょうりゅう)氏が独自の技法「紋曼荼羅® Mon-Mandala」によって円と線を組み合わせ描いた「獅子の紋章」と細密画の技法により写実的に表現された五重塔が融合した、唯一無二のデジタルアートとして必見。2階には、実演などのイベントも開催できる、ゆつたりとしたラウンジを用意しており、国内はもちろん世界中のファンに向けて、グランドセイコーの魅力を発信していく。

▽住所=〒150-0001 京都市下京区四条通麩屋町西入立売東町21番地1 源吉兆庵ビル1F/2F

東京眼鏡卸協同組合(理事長: 藪下和巳)は、組合創立百周年記念行事の開催に向け記者発表を行い、企画案について説明した。

創立百周年記念パーティを実施 10月15日上野精養軒で開催 東京眼鏡卸協同組合

同組合の百周年記念行事は既に始まり、同組合が主催した4月のワールドオプティカルフェア(WOF)にて会場内に「組合百年史コーナー」を設置したことを企画I(令和7年組



掛けることはできませんが、少しでもお祝いできる方に向けて準備を進めています」と説明があった。

組合の百年史コーナーでは創立した1925年(大正14年)の頃からの歴史年表とともに、めがね祭、総会、周年式典、海外研修、WOFなど様々な事業や出来事の写真が掲載され、多くの人が立ち止まり、百年の歴史の深さや思い出にふける姿が見られた。企画II(令和8年度組合事業)は、10月15日に開催する「組合創立百周年記念パーティ」及び記念誌の製作を予定していること。藪下理事長は「私が23代目の理事長に就任した2023年はまだコロナ禍

は、組合員のためのものと考えますので、小さくても組合員の中でということも考えましたが、こうして百年があるのも取引先をはじめ協力関係者があつてのことです。皆様全員に声をかけたいと考えています。関係団体、共同宣伝事業(WOF)の協賛メーカー・商社を中心に招待する(会費制)。会場は上野公園内にある上野精養軒本店3階構の間。時間は正午より4時間程度。記念誌は、同パーティの集合写真を掲載し、パーティ参加者を中心に進呈するが、参加できなかった協賛社にも進呈する予定となっている。

グラフが1960年代に敬意を表し 魅惑的な新作ハイジュエリーを発表

グラフはパルクチュールにて、グラフが創業した時代であり、ダイヤモンドの芸術と革新性において新たなステージが幕を開けた1960年代に敬意を表し、魅惑的な新作ハイジュエリーセット「1963」を発表した。



この「1963」は、当時を象徴する自由で革新的なムーブメント「スウィングシックスティーズ」の概念を宿し、伝統的な価値観からの解放、また自由かつ文化的な革新を、ダイナミックなデザインと熟練のクラフツマンシップ、そしてグラフのダイヤモンドが放つ比類ない輝きで表現している。

すべての作品は、匠の職人の卓越したクラフツマンシップにより精緻に制作され、巧みに配された彫刻のようなオーバルモチーフがヒプノティックかつ幻想的なリズムを描き出す。さらに、熟練を極めたマスタークラフツマンの手でセッティングされた光の曲線が見る人の視線を無限のループへと誘い、中央に配されたオーバルダイヤモンドの輝きをより一層際立たせる。この続きはW&Jオンラインで読める。

ス、ブレスレット、イヤリングには、トータル129カラット、7,790石に及ぶオーバル、パダレットカット、ラウンドの極上のダイヤモンドがあしらわれ、まばゆい輝きを放っている。

すべての作品は、匠の職人の卓越したクラフツマンシップにより精緻に制作され、巧みに配された彫刻のようなオーバルモチーフがヒプノティックかつ幻想的なリズムを描き出す。さらに、熟練を極めたマスタークラフツマンの手でセッティングされた光の曲線が見る人の視線を無限のループへと誘い、中央に配されたオーバルダイヤモンドの輝きをより一層際立たせる。この続きはW&Jオンラインで読める。

偽装品や海賊版は世界で2.3% パンドラがアマゾンと共同で摘発

パンドラはアマゾンの模倣品対策部門と協力し、中国の2つの販売業者からの大規模な偽造品の輸入を摘発した。パンドラの知的財産権およびブランド保護チームは、複数回にわたる税関での押収を受け、2020年から本格的な調査を開始。その後、アマゾンおよび中国の法執行機関と連携し、現地での刑事的な強制捜査を実施。これによって数千点の偽造パンドラ製ジュエリーが押収された。

2025年3月には上海の裁判所で、この事件の関係者を商標権侵害の罪で有罪判決とし、5年間の懲役および高額な罰金を科した。

販売員さんご紹介！

BICO・GHI株式会社
エムシーゾーマネキン紹介事業部
東京 TEL: 03-3409-6954
札幌 TEL: 011-219-0758
大阪 TEL: 06-6348-1020

パンドラのシニア・バイスプレジデントで法務責任者であるピーター・リング氏は、「今回のアマゾンとの協力が、模倣品撲滅の上でどれほど効果的であるかを示すものとなった。当社のグローバルなブランド保護の専門知識と、アマゾンの調査能力を組み合わせることで、現地警察による複雑な犯罪ネットワークの解体を支援できた」と述べた。

パンドラは2024年、AI搭載の偽造

品検出ツールを活用することで、50万件に及ぶSNSアカウントやウェブページ、その他のオンラインコンテンツの削除に貢献した。この数字は前年から215%の増加となっている。また、約10万点の偽造宝飾品の押収にも関与した。今後もアマゾンや現地当局と協力



日本初開催！ IGIラボグロウンダイヤモンド プロフェッショナルトレーニング

IGI公式修了証明書を取得
世界的な宝鑑定機関として広く知られるIGI(International Gemological Institute)が、2025年8月7日(木)・8日(金)の2日間にわたり、日本初となる公式トレーニングプログラム「IGIラボグロウンダイヤモンド・プロフェッショナルトレーニング」を東京で開催する。これまで海外でしか受講できなかったIGIの専門カリキュラムを、日本語で体系的に学べる初の機会であり、語学の壁を気にすることなく、

世界基準の知識を確実に習得できる貴重な場となる。本トレーニングでは、天然ダイヤモンドとラボグロウンダイヤモンドの構造的な違いや基礎知識から始まり、最先端の製造技術、鑑別とグレーディングの手法、処理技術、さらには国内外の市場動向に至るまで、業界関係者にとって必要不可欠な内容を網羅する。受講者にはIGIから公式の修了証明書が発行され、知識と専門性の証明として、顧客や取引先への信頼性向上にもつながる。

本トレーニングは、ラボグロウンダイヤモンドをすでに取り扱っている企業はもちろん、今後の取り扱いを検討している企業、天然ダイヤモンド事業者、ブランド、ジュエリーデザイナー、個人事業主まで多様な参加者に向け

て開かれている。ラボグロウンダイヤモンドに関する確かな専門性を持つことで、商品企画・販売・顧客対応における競争力が大きく向上することが期待される。

この取り組みは、IGIと一般社団法人日本ラボラトリーグロウンダイヤモンド協会(代表理事:伊藤拓也)との公式パートナーシップにより実現したものである。協会は、日本国内におけるラボグロウンダイヤモンドへの正しい理解の普及と流通の健全化を目的に活動しており、本トレーニングはその一環として開催される。業界における新たな必須知識を短期間で習得できる本講座は、ジュエリービジネスの未来を見据えるすべての事業者にとって、極めて有意義な機会となるに違いない。

参加枠には限りがあるため、早めの申込が推奨される。開催概要、申込は以下URL、又はQRコードより

続 イタリア観光旅行 見聞記

ベネチア、フィレンツェ、ローマをめぐる旅でそれぞれ一日の自由行動が組み込まれていた。さてそうなる朝と夜の食事はホテルで済むとしても昼をどうするか、安上がりに済ませたいところでマクドナルドを見つけた。フィレンツェの駅前にどんと構えたMのマークには親近感が湧くではないか。早速注文をと思うが、対面カウンターはない。オーダーはデジタル画面からで、日本でもなんとかこなしてはいたがイタリア語では飲み込めない。フライドポテトの画面も出てこない。聞いてみればスタッフが影さ見ええない。支払いはすべてキャッシュレスらしい。結局あれこれ操作したけどもお手上げで退散。イタリアMのハンバーガーはどんな味なのか、食べてみたかった。悔しい。

このフィレンツェの中心部にはいくつかのキリスト教の寺院があつてその周りが広場になっている。多くの観光客でにぎわっているのだが、寺院はどれもがとても大きくて我々日本人の尺度観を超えている。圧倒される威容感があるのだが、その中でも垂直に立つ塔は、見上げてみると天に届けとばかりに高く装飾も美しく格調高い。これほどのものをクレーンなどない時代にあの高さにどうやって資材を運び建築したのだろうか、塔を間近にして見上げながら伝わってくるのは当時の人々の宗教的な熱情である。その熱くしてこの塔は造れなかったに違いない。心が中世に飛んでいるとマルティン・ルターが顔を出す。「いいや違う、教会などは腐敗の象徴なのだ、信仰の心は聖書一冊の中にしかない」とドイツの片隅で彼がつぶやいた歴史を思い出す。見上げた時の感動が薄れていく。歪んでくる。フィレンツェからローマへ移動するバスの車窓から田園が広がる。単調な景色だけれども小高い丘にレンガらしい赤茶けた家々の集落が見える。あそこを尋ねたら、どんな視線に出会うのだろうか。極東の異邦人は警戒されるのか、歓迎されるのか、周囲に何も無い観光地とは無縁の人々の生活に触れ



路傍の カナリア127

てみたい。好奇心がうごめく。ローマのカフェでトイレを借りた。暗く狭い階段を地下へ降りていくのだが、手洗いの場では足元のペダルを踏むとライオンの中から水が出てくる。その白っぽい彫刻はただ薄汚れた安物なのか、年代物なのか分りかねたが、手を差し伸べれば水が自動的に出てくる面白味のない日本の蛇口よりもはるかに味わいがある。パチッと一枚シャッターを切った。旅に届けとばかりに海外旅行は楽しい。その裏で知らず知らずに疲労とトラベルストレスが積みあがっていく。相手も同じだ。些細なことでお互いがイラっとする。「あそこを曲がらなければよかったのに、鈍い人ね」「土産買すぎだろ、どうすんだよこの荷物、子供みたい」「よく食べるね、だから太るんだよ」言葉にとげが出てくる。沸点は近い。旅の終盤を上手に乗り越えようと楽しい記憶が残るのに、転げ落ちるとすべてが苦いものに変わってしまう。「旅をうまくまとめる。この気持ちをどちらか一方が意識しているだけでセーフティネットは機能する。人生のあり方に重なり合うかもしれない。こうしてつかみ合うような喧嘩もせず羽田へと帰って来た。イタリア旅行の最大の目的「無事に帰ってくること」は果たすことが出来た。やれやれ!

貧骨
cosmoloop.22k@nifty.com

至福の着け心地は、大人たちの時間のために

じっくりとただ静かに、自分だけの時間を愉しむ大人たちへ。わずか1.00mmのムーブメントがもたらす何物にも代えがたい心地よさをその腕に。

Eco-Drive One

CITIZEN

AR5054-51E 473,000円 (税抜価格 430,000円)
シチズン時計株式会社 <https://citizen.jp>